



お元気ですか! 志村たかよしです

第675号 2014年1月12日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

徳洲会から5000万円 猪瀬氏 都知事を辞任



辞職のあいさつに日本共産党都議団控室を訪れた猪瀬氏（左）に公開質問状を示す（前列右から）吉田、清水、大山各都議ら＝24日、都庁

共産党の追及が決定打に
日本共産党都議団は、本会議の一般質問や代表質問、そして2回開かれた総務委員会で、徳洲会の

の辞職は、都知事在任期間の最短記録の更新です。
昨年の12月19日、医療法人「徳洲会」から5千万円もの裏献金を受けていた猪瀬都知事が辞職に追い込まれました。

知事就任後わずか1年と1日での辞職は、都知事在任期間の最短記録の更新です。

都知事選挙 2月9日に

猪瀬氏の辞任により、都知事選挙が2月9日に行われることになり、石原前知事の都政投げ出しに続き、東京都は3年間で3回も知事選を行うという前例のない事態となりました。

都知事選挙の結果は、中央区に無関係ではありません。築地市場「移転」問題、大企業のための大型開発・超高層ビル中心のまちづくりの問題、オリンピック選手村問題など、都知事の政治

都心進出の意向に沿う形で、当時の猪瀬副知事が東電病院売却に介入した疑惑等を追及し、都の職員から「共産党の追及と百条委員会提案が決定打になつた」の声もあがりました。

6月の都議選で議席を17に倍加して、都議会第3党に躍進した日本共産党の発言時間が倍増したこと、疑惑追及に大きく貢献しました。

選挙結果は区にも直接影響が

議員から金を受け取った当時、「5千万円を使い切つたら、またお金を出してくれますよね」と念押しする趣旨の発言をしていたことが、関係者の話で分かった。「5千万円は一切手をつけなかつた」と主張する猪瀬氏だが、当初はさらなる資金提供を期待していた疑いが浮かんだ。

「使い切つたら追加を」と徳田議員に念押し!?

（東京新聞12/27）

区民にとって、都民にとって望まれる都知事は誰なのか。首都東京の有権者の判断がこれからの日本の左右するという大事な選挙となります。

猪瀬氏が徳田毅衆院議員

石原・猪瀬と続いた冷たい都政

猪瀬都政の基本政策は、石原前知事が推進した五輪東京招致、外資系企業に大減税して都心呼び込み、東京外環道など3環状道路建設、土壤汚染地に築地市場を移転する豊洲新市場計画などでした。

一方、国民健康保険料の負担軽減、都営住宅の新築など都民の暮らしにあります。

石原前都知事

徳洲会と深いつながり

億単位の資金提供疑惑

12年2月に、徳洲会グループから追放された徳田虎雄氏の元側近が作成した83ページにわたる「反論書」には、政界工作についての記述がありますが、その中に、「石原知事にも億単位の資金提供がされており…」という一節があります。

石原氏にも、徳洲会との関係について、説明責任があります。

らし・雇用、中小業者の営業支援をはじめ、都民の福祉や暮らしの願いには冷たく背を向けてきました。

「アベノミクス」政策に追随

安倍内閣の「アベノミクス」政策に追随した動きも猪瀬都政の特徴でした。

去年5月、猪瀬氏が国に提出した「国家戦略特区」の提案書「アジアヘッドクオーター（アジアの司令塔）特区」では、外国の多国籍企業誘致のため大幅な法人税減税を表明するなど、大企業の利益優先の方針が打ち出されています。また、「東京標準時」として標準時間の2時間前倒しやカジノ誘致構想などを打ち出しました。

2月9日に行われる都知事選は、石原、猪瀬の両氏と「オール与党」が推進した都民施策に冷たく、大企業優先の都政にストップをかけ、都民の暮らし第一の都政に転換するのかどうかが、大争点となります。



宇都宮けんじさんの希望の政策！



- 希望の政策1 首都東京から脱原発
- 希望の政策2 放射能汚染対策の徹底を
- 希望の政策3 仕事を増やす、仕事を創る
- 希望の政策4 安心して子育てできる東京へ
- 希望の政策5 いじめのない学校を
- 希望の政策6 すべての都民に必要な医療を
- 希望の政策7 高齢者がゆったり暮せるまちに
- 希望の政策8 災害に強い東京へ
- 希望の政策9 「住むこと」は人権です
- 希望の政策10 東京を「表現の自由都市」に
- 希望の政策11 女性の力を都政に反映
- 希望の政策12 アジア友好平和都市・東京へ

「人にやさしい東京をつくる会」HPより

いち早く 宇都宮健児氏が出馬表明



宇都宮健児氏(右)に推薦を伝え握手を交わす志位和夫委員長=6日、日本共産党本部

1月6日、前回知事選で96万票を獲得し、次点となつた宇都宮健児氏が都知事選挙での出馬を表明しました。

宇都宮氏は会見で「都民一人ひとりが暮らしやすい街にしたい」「世界一働きやすく、

本政策の五つの柱と、猪瀬前知事の裏献金疑惑の徹底究明など、二つの特別政策の柱を発表しました。

また、安倍政権の秘密保護法や社会保障切り捨ての強行、集団的自衛権行使容認などの暴走に反対し「首都で平和と憲法を守る都政をうちたてる」と強調。2020年東京オリンピックは環境・平和と友好の祭典にしたいと語りました。

くらしやすい希望のまち東京を」「安倍政権の暴走をストップし、憲法を守り、東京からアジアに平和を発信」など基